

NEWSLETTER

比較経済体制学会

No.75 August 2026

Contents

- ・ 比較経済体制学会 2026 年度第 66 回全国大会を終えて
- ・ 比較経済体制学会 2027 年度第 67 回全国大会について
- ・ JACES September Workshops の開催について
- ・ 学会機関誌編集委員会からのお知らせ
- ・ 比較経済体制学会 2026 年度若手会員旅費助成の募集について
- ・ JCREES(日本ロシア・東欧研究連絡協議会)関連の報告
- ・ 比較経済体制学会第 66 回会員総会議事録
- ・ 新入会員のご紹介
- ・ 事務局からのお知らせ(サマースクールへの講師派遣)
- ・ 事務局からのお知らせ(会員名簿情報更新のお願い)
- ・ 事務局からのお知らせ(計報)
- ・ 事務局だより

比較経済体制学会 2026 年度第 66 回全国大会を終えて

今年度の第 66 回全国大会は、6 月 27 日・28 日の 2 日間にわたり、北九州市立大学北方キャンパスにおいて対面形式で開催されました。2 日間で 72 (のべ 112, 非会員含む) 名の参加がありました。

大会初日には、公開シンポジウム「流動する国際情勢下の東アジア」が開催されました。午前の部では、三重野文晴先生(京都大学)、戴二彪先生(アジア成長研究所)による 2 本の基調講演が行われました。午後の部では、矢野剛会員の司会のもと、中国(渡邊真理子会員)、韓国(吉岡英美先生)、北朝鮮(中川雅彦先生)、ロシア極東(新井洋史会員)について 4 本の報告が行われ、基調講演者を交えたパネル討論が行われました。国際秩序が大きく変化するなか、東アジア各国・地域の経済社会がどのような変容を遂げつつあるのかについて、多角的な議論が交わされました。

2 日目には、自由論題パネルセッションが 2 つと、自由論題セッションが 4 つ組まれました。パネルセッションでは、「東アジア比較経済研究：国家・企業・家計行動の経済分析」と「国家主導型のイノベーション：ウズベキスタンの IT 部門に関する現状分析」をテーマとして計 5 本の報告が行われました。また、自由論題セッションでは、アジア経済、欧州・世界経済を中心に計 11 本の報告が行われ、2 日目全体で計 16 本の研究報告が行われました。

大会運営においては、至らない点も多々あったかと存じますが、皆様のご協力のおかげで、2 日間の

日程を無事に終えることができました。岩崎一郎代表幹事をはじめ、大会組織委員の小出秀雄会員、志田仁完会員、武田友加会員、柳学洙会員には、準備段階から大会当日まで多大なご支援をいただきました。また、プログラム編成にあたっては、岩崎一郎会員、馬欣欣会員、柳学洙会員をはじめとするプログラム委員会の皆様に多大なご尽力を賜りました。自由論題にご応募くださった先生、遠方・海外からお越しくくださった先生の大会へのお力添えにも感謝申し上げます。

さらに、公開シンポジウムの開催にあたっては、北九州市ならびに公益財団法人北九州市観光コンベンション協会よりご協賛をいただきました。ここに厚く御礼申し上げます。

関係者の皆様、報告者・討論者・座長の皆様、そして本大会にご参加くださったすべての皆様に、この場をお借りして改めて御礼申し上げます。

大会組織委員長
白石 麻保（北九州市立大学）

比較経済体制学会 2027 年度第 67 回全国大会について

比較経済体制学会 2027 年度全国大会は、上智大学（東京都千代田区）において、2027 年 6 月下旬に開催の予定です。大会組織委員長は、安達祐子会員が務めます。大会プログラム委員会には、安達会員に加えて、志田仁完会員（西南学院大学）と岩崎一郎代表幹事（沖縄大学）が、大会組織委員会には、土田陽介会員（三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング）、馬欣欣会員（法政大学）および横川和穂会員（神奈川大学）が、それぞれ参加します。

本大会では、比較経済の理論や分析手法等を議論する「比較経済の技法」と、ウクライナへの軍事侵攻を続けるロシアの経済情勢に切り込む「ロシア戦時経済の深層」（仮題）という 2 つの共通論題を企画します。後者の「ロシア戦時経済の深層」セッションは、公開シンポジウムとしての開催を予定しています。いずれの共通論題も、総合司会、報告者、討論者が既に決定しています。なお、「比較経済の技法」セッションには、東京大学の伊藤亜聖准教授が、招待報告者として登壇されます。

下記に本大会の大枠が示されています。この通り、大会第一日目は、午後に開催する共通論題「比較経済の技法」に合わせて、午前中に同じタイトルの自由論題セッションを企画します。一方、大会第二日目は、通常自由論題セッションを午前に、共通論題「ロシア戦時経済の深層」は午後に、各々開催します。第一日目の自由論題セッションは 4 報告を、第二日目は 12 報告を、2027 年 1 月から募集します。いまからこれら自由論題セッションでの報告をご検討ください！

＜2027 年度全国大会のフレームワーク＞

大会第 1 日目（開催日未定）

09:00 開場・参加登録

09:50 開催校代表挨拶 安達祐子（上智大学）
代表幹事挨拶 岩崎一郎（沖縄大学）

10:00～12:00

自由論題「比較経済の技法」	
司 会	未定
報告者・論題	※4報告を募集

＜昼食休憩60分＞

＜新・旧幹事会＞

13:00~16:00

共通論題「比較経済の技法」	
総合司会	梶谷 懐(神戸大学)
報告者・論題	伊藤 亜聖(東京大学)「量的テキスト分析:中国経済研究における実践とフロンティア」(仮題) 岩崎 一郎(沖縄大学)「メタ分析:制度の質と経済成長」(仮題) 日臺 健雄(専修大学)「政治経済学アプローチ:国家資本主義論から国家主導資本主義論へ」(仮題) 樋渡 雅人(東京大学)「離散選択実験:途上国・移行経済における環境評価の実践と新展開」(仮題)
討論者	梶谷 懐(神戸大学)・溝端 佐登史(京都大学)

16:30 会員総会

18:00 懇親会(会場未定)

大会第2日目(開催日未定)

09:00 開場・参加登録

09:30~11:00

自由論題Ⅰ	自由論題Ⅱ
司 会 未定 報告者・論題 ※3報告を募集	司 会 未定 報告者・論題 ※3報告を募集

11:15~12:45

自由論題Ⅲ	自由論題Ⅳ
司 会 未定 報告者・論題 ※3報告を募集	司 会 未定 報告者・論題 ※3報告を募集

13:30 シンポジウム会場開場・非学会員参加受付

14:00~17:00

共通論題・公開シンポジウム「ロシア戦時経済の深層」(仮)	
総合司会	金野雄五(北星学園大学)
報告者・論題	雲 和広(一橋大学)総論「戦時下のロシア経済:企業パフォーマンス, デジタル化, 迂回取引」(仮題) 服部 倫卓(北海道大学)産業・財界「ロシア・ウクライナ軍需産業の分断と変容:1つの産業複合体から2つの戦時経済へ」(仮題) 土田 陽介(三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング)通貨・金融「弱くて高い通貨, ルーブル」(仮題) 堀江 典生(富山大学)頭脳流出・労働移民「戦時下の国民大量出国:ロシア経済への影響を考える」(仮題)
討論者	徳永 昌弘(関西大学)

17:00閉会

(事務局)

JACES September Workshops の開催について

学会事務局は、ロシア経済研究者として著名な英グラスゴー大学の Carsten Sprenger 博士をお迎えして、JACES September Workshops を企画します。関西地区では、2026 年 9 月 8 日（火）に京都大学経済研究所にて、関東地区では、同年 9 月 19 日（土）に上智大学 10 号館にて、それぞれ開催します。各ワークショップの概要および参加希望受付申し込み方法は、下記の通りです。奮ってご参加ください！

JACES Kyoto Workshop on Comparative Economics and the Russian Economy (Held Jointly with the 18th KIER-CAPS Research Workshop on Applied Economics and the Japanese Society for Comparative Economic Studies)

Date: 8 September 2026 (Tue)

Time: 14:00–17:30

Venue: 1st Floor, North Building, Kyoto Institute of Economic Research, Kyoto University

Keynote Lecture: 14:00–15:30

SPRENGER, Carsten (University of Glasgow)

“Dividends in the Dark: The Stock Price Reaction to Dividend Announcements When Financial Disclosure Is Suspended”

Session on Comparative Economics and the Russian Economy: 15:40–17:30

1. TOKUNAGA, Masahiro (Kansai University)

“Exploring a national-rational dilemma of the IT industry in Uzbekistan”

2. HAYASHI, Hiroaki (Ritsumeikan University)

“Demographic Change and Social Capital in Russia and Japan”

3. FUSHITA, Hironori (Kobe City University of Foreign Studies)

“A Study of Russia’s Economic Security Policy”

4. GORSHKOV, Victor (University of Niigata Prefecture)

“Sanctions and Countersanctions: Strategic Adaptation of Foreign Banks in Russia”

5. MIZOBATA, Satoshi (Kyoto University)

“Economic resilience in the face of ceaseless crisis: Lessons from the dual pressures of a wartime state and a welfare state in Russia”

JACES Tokyo Workshop on Comparative Economics and the Russian Economy

Date: 19 September 2026 (Sat)

Time: 13:00–18:00

Venue: Room B108A, Building No. 10, Sophia University

Keynote Lecture: 13:00–14:20

SPRENGER, Carsten (University of Glasgow)

“The Stock Price Reaction to Targeted Sanctions: Evidence from Russian Firms”

Session on the Russian Economy: 14:30–16:00

Chair: SUZUKI, Taku (Teikyo University)

1. ADACHI, Yuko (Sophia University)

“The Role of State Corporation Rosatom in Russia’s Arctic Policy”

2. HIDAI, Takeo (Senshu University)

“Financing Russia’s Wartime Military Expenditure: Enterprise Nationalization and the Role of the National Welfare Fund”

3. SHIDA, Yoshisada (Seinan Gakuin University)

“State–Business Relationships and CEO Criminality in Russian Firms”

Session on Comparative Economics: 16:10–17:40

Chair: SATO, Kazuko (Teikyo University Junior College)

1. MA, Xinxin (Hosei University)

“A Comparative Study of the Gender Wage Gap in China and Japan”

2. SATOGAMI, Mihoko (Soka University)

“Institutional Convergence and the Persistence of Gendered Labor Structures: The Deeper Effects of State Intervention in Unified Germany”

3. IWASAKI, Ichiro (Okinawa University)

“Democracy and Growth: A Large Meta–Analysis with Regional Comparison”

General Discussion: 17:40–18:00

About the Keynote Speaker



Dr. Carsten SPRENGER

Lecturer in Financial Economics, Adam Smith Business School, University of Glasgow

Dr. Sprenger holds a PhD in Economics from Pompeu Fabra University in Barcelona, Spain. Prior to joining the University of Glasgow, he worked at the New Economic School and the Higher School of Economics, both in Moscow, Russia. He has undertaken research visits at the CESifo Institute in Munich (2017) and the Bank of Finland Institute for Emerging Economies (BOFIT), and is a CESifo Research Network Affiliate.

Publications

Sprenger, Carsten and Lazareva, Olga (2022) Corporate governance and investment–cash flow sensitivity: Evidence from Russian unlisted firms. *Journal of Comparative Economics*, 50(1), pp. 71–100.

Sprenger, Carsten (2019) Limited demand, limited supply: Corporate governance and sustainability in Russia. In: Bruner, Christopher M. and Sjöfjell, Beate (eds.) *The*

Cambridge Handbook of Corporate Law, Corporate Governance and Sustainability. Cambridge University Press, pp. 317-330.

Sprenger, Carsten (2014) Privatization and survival: Evidence from a Russian firm survey. *Economic Annals*, 59 (200), pp. 43-60.

Sprenger, Carsten (2011) The choice of ownership structure: Evidence from Russian mass privatization. *Journal of Comparative Economics*, 39 (2), pp. 260-277.

JACES September Workshops 参加希望申し込み方法

9月8日開催の京都ワークショップへの参加をご希望の皆さまは、幹事である林裕明会員（立命館大学）へ、メールでその旨ご連絡ください。アドレスは、hirohaya[at]fc.ritsumei.ac.jp です。

9月19日開催の東京ワークショップへの参加希望は、下記QRコードにあります参加希望申し込みフォームで受け付けています。

なお、いずれのワークショップも、会場の都合上、募集定員に達しましたら、先着順で締め切らせていただきます。



学会機関誌編集委員会からのお知らせ

学会機関誌『比較経済研究』（英語名称：Japanese Journal of Comparative Economics）は、レフエリー制投稿誌として、年2回発行しています。

学会幹事会の委嘱により、第64巻以降の編集委員長を三竝康平会員（帝京大学）が務めることとなりました。また、これまで第62巻・第63巻の編集委員長を務めた志田仁完会員（西南学院大学）は副編集委員長として引き続き編集委員会に加わります。編集委員として、植田暁会員（アジア経済研究所）、岡崎拓会員（羽衣国際大学）、鈴木紫会員（共立女子大学）、藤井大輔会員（大阪経済大学）を加えた新しい編集委員会の下で編集を担当していきます。どうぞよろしくお願いいたします。

先日、学会機関誌『比較経済研究』第63巻2号が刊行されました。ご寄稿いただいた先生方には、ご尽力賜りましたことに心より御礼申し上げます。内容は以下の通りです。

特集：ウクライナ侵攻とユーラシア地域の通貨・金融Ⅱ

高橋智彦「ウクライナにおける中央銀行デジタル通貨（CBDC）導入検討の経緯と可能性」

杉浦史和「西側の大規模制裁後のロシア金融—ルール防衛の成否を中心に—」

書評

富山栄子『21世紀アジア市場と日系企業：変貌するグローバル化の中の企業と戦略』（アジア経営学会監修、小阪隆秀・夏目啓二・村田大学編著）

樋渡雅人 *Corporate Systems in Emerging Market Economies: A Comparison of China and Eastern Europe* (Ichiro Iwasaki, Xinxin Ma and Satoshi Mizobata)

伏田寛範『航空機産業の技術競争力と認証制度—グローバル市場におけるボーイングの盛衰—』
(山崎文徳著)

Abstracts

学会機関誌投稿・執筆要綱

当機関誌では、論文(400字×55枚以内)、研究ノート(400字×45枚以内)、書評(400字×17枚以内)の投稿原稿を随時募集しています。掲載をご希望の会員は、編集委員会アドレス(jaces.edit@gmail.com)まで原稿をご提出ください。

投稿原稿の締切として、第64巻1号(2027年1月刊行予定)は2026年8月末、第64巻2号(2027年6月刊行予定)は2027年2月末を予定しております。機関誌の企画及び査読の都合上、上記締切直近の刊行号に掲載されない場合があります。あらかじめご了承ください。その他に不明な点があれば、編集委員会に気軽にご相談ください。

なお、書評の対象は、会員による著作に限定せず、また日本語書籍に限定せずに広く募集しています。優れた研究成果の情報共有にご協力ください。また、会員の皆様が新著(書籍)を公刊される際には、候補著書として検討させていただきますので、上記編集委員会アドレスまでご一報いただけますようお願いいたします。

当学会に連続2年度以上在籍している若手研究者(院生会員及び年齢40歳以下の正会員)が単独執筆した機関誌掲載論文は、原則として、その全てが自動的に「研究奨励賞」の候補対象となります。応募資格を持つ会員の皆様は、特に奮ってご投稿ください。

『比較経済研究』は、国立研究開発法人科学技術振興機構が運営する科学技術情報発信・流通総合システム(J-STAGE)の登録雑誌です。最新号を含む全てのバックナンバーが閲覧可能です。どうぞご利用ください。電子版トップページのアドレスは、以下の通りです。

<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/jjce/-char/ja/>

(学会機関誌編集委員会)

比較経済体制学会 2026 年度若手会員旅費助成の募集について

比較経済体制学会第66回全国大会会員総会で承認された「比較経済体制学会若手会員旅費助成規程」<<https://www.jacesweb.com/award/#toc2>>に基づき、2026年度若手会員旅費助成を募集しています。希望者は学会事務局に事前連絡の上、所定の申請用紙を大会開催の1ヶ月前までに提出してください。

(事務局)

JCREES(日本ロシア・東欧研究連絡協議会) 関連の報告

JCREES 幹事会は、2026年3月11日と6月12日の2度開催されました。

JCREES から ICCEES への分担金支払いは、ICCEES からスラ研への寄付金と分担金を相殺する形で、手続きを進めることになりました。

ロシア東欧研究を志す大学院生や学部学生を対象に JCREES が毎年度企画しているサマースクールは、今年8月27~28日に北大スラ研で開催されました。当学会からは、佐藤メンバーシップ担当幹事を、特別講師として派遣しました。本サマースクールですが、北大スラ研が開催経費の大部分を負担している現状に鑑みて、名称を「SRC 百瀬基金・JCREES サマースクール」に変更する方向で検討されています。

(代表幹事)

比較経済体制学会第 66 回全国大会会員総会議事録

[1] 審議事項

1. 2025 年度決算について

下記決算書に基づき、事務局より決算報告および発議が行われました。会計監査担当の安達祐子会員・志田仁完会員より、決算に問題がないことが報告されました。本決算は総会において、承認されました。

2. 2026 年度予算について

下記予算書に基づき、事務局より予算の発議がなされ、承認されました。

- ・経費は、過年度の実績を参考に編成しました。

[2] 報告事項

1. 新規入会者・退会者・会員の訃報について
2. 2027 年度全国大会について
3. 研究奨励賞について
4. 機関誌発行・編集状況および次期学会機関誌編集委員会について
5. 2027 年度若手会員旅費助成について
6. JCREES 幹事会について
7. 日本経済学会連合について

[3] 幹事会報告

(事務局)

新入会員のご紹介

坂田正三会員（沖縄大学経法商学部）、推薦者：岩崎一郎会員・佐藤嘉寿子会員
戴 二彪会員（アジア成長研究所 教授）、推薦者：岩崎一郎会員・白石麻保会員

事務局からのお知らせ（サマースクールへの講師派遣）

2026 年 8 月 27 日～28 日、本学会からの派遣講師として、JCREES 主催の「スラブ・ユーラシア研究サマースクール」に参加しました。全国から選ばれた 17 名の学部生・大学院生が北海道大学スラブ・ユーラシア研究センターに集い、講師の報告を聞くだけでなく、自らの研究についても報告するというプログラムです。幅広い年齢層の講師陣と、人文科学・社会科学を専攻する学部生・大学院生からの双方の報告に対して、活発な質疑応答が行われました。加えて、講師陣からはテーマの選び方、研究の進め方、文献収集の方法などについてのレクチャーもあり、その後の懇親会でも研究に関する話題で大いに盛り上がりました。私は自身の研究史とともに、現在のテーマにたどり着いた経緯を報告したところ、関心を持つ学生との交流も生まれ、大変有意義な時間となりました。私の報告が院生たちにとってはいささか昔の出来事のように受け取られたことには驚きを禁じ得ませんでした。考えてみれば、冷戦が終結し体制転換から三十数年が経った今、これらの出来事は学部生や大学院生だけでなく若手研究者にとっても、自分が生まれる前の「歴史」となっているのです。加えて、こうした幅広い専門分野の若手研究

者や学生たちとの交流を通じて、人文科学と社会科学とでは、体制転換という出来事の捉え方そのものに違いがあるのではないかということにも気づかされました。それぞれの見方を互いに共有し合うことの大切さを、改めて痛感した時間でもありました。

(佐藤嘉寿子)



JCREES 主催「スラブ・ユーラシア研究サマースクール」
(2026 年 8 月 27 日～28 日、北海道大学)

事務局からのお知らせ（会員名簿情報更新のお願い）

今年度は会員名簿作成の年度となっております。名簿作成にあたり、会員の皆様にご協力を賜りたく存じます。

具体的には、以下の手順で学会サイトの個人ページより登録情報をご確認・更新頂きたく、お願い致します。（情報に変更が無く、全て掲載可能の場合にも必ずご確認ください）。

【手順】

① 学会サイトの個人ページにお入りください。アドレスは以下の通りです。

<https://asas-sys.jp/member/login/61384e2f2ad285905f4c1ca0f14995a171923e10>

学会サイト (www. jacesweb. com) からの場合は、HP 上部の「入会案内等」→「入会手続き・会員情報の変更および年会費閲覧について」の「【登録情報変更・年会費閲覧】」をクリックしていただければ上記サイトに移行します。

② 会員番号およびパスワードを入力して、ログインしてください。

ログインには、会員番号およびパスワードが必要となります。会員番号は年会費請求書にも記載されております。パスワードがご不明の方は、上記サイトの「パスワード問い合わせ」ボタンを通じて問い合わせをお願いします。会員番号が不明あるいは「パスワード問い合わせ」がうまくいかない場合は、学会支援機構宛にメールで問い合わせをお願いします。メールアドレスは jaces@asas-mail.jp（担当は

太田様)です。

③ ログインいただけましたら、一番上の「登録情報変更」をクリックして登録情報の確認・更新をお願いします。

情報の確認・更新が終わりましたら、必ず、ページ最下部にある「Q2. (*) 名簿の掲載について」の該当箇所チェックをお入れください。記入後は左下にある「確認画面」のボタンをクリックし、再度ご確認下さい。左下の「更新」ボタンをクリックして完了です。

会員情報確認の期限は 9月30日(水) とさせていただきます。

お手数ではございますが、情報に変更が無く、全て掲載可能の場合にも必ず、学会サイトの個人ページから登録情報の確認・更新をお願いいたします。

なお、今年度の会員名簿の掲載データは以下の通りです。

必須項目：氏名(含カナ)、所属、専門分野、メールアドレス1

任意項目：所属住所(含郵便番号)、所属電話番号、自宅住所(含郵便番号)、自宅電話番号、メールアドレス2

※メールアドレス1は、所属機関メールアドレス、個人メールアドレスなどのうちご希望のものを、メールアドレス2は、予備として利用するものを登録ください。任意項目については名簿への掲載・不掲載をお選びいただけます。

ご不明な点は事務局・メンバーシップ担当の佐藤宛にお問い合わせください。事務局のメールアドレスは adm@jacesweb.com です。ご多忙のところ恐縮ではありますが、ご協力のほど、重ねてお願い申し上げます。

(事務局・メンバーシップ担当)

事務局からのお知らせ(訃報)

今井雅和会員が2024年にご逝去されました。当学会の発展に貢献された先生方のご功績に感謝しつつ、謹んでご冥福をお祈りいたします。

今井雅和会員

(事務局)

事務局だより

新執行部の発足から一年が経過し、会員の皆さまのご理解とご協力に支えられながら、事務局の運営を進めてまいりました。日頃より学会活動に温かいご支援を賜り、心より御礼申し上げます。今年度も、全国大会をはじめとする諸事業が円滑に実施されるよう、事務局一同、着実な会務運営に努めてまいります。来年度の全国大会準備等に際して、会員の皆さまにご協力をお願いすることもあるかと存じますが、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

(事務局 柳学洙・佐藤嘉寿子)

ニューズレターNO.75 発行

2026 年 8 月 31 日

比較経済体制学会事務局

〒802-8577 福岡県北九州市小倉南区北方 4 丁目 2-1 北九州市立大学
柳学洙 研究室気付

事務総括：柳学洙（北九州市立大学）

会計担当：岩崎一郎（沖縄大学）

メンバーシップ担当：佐藤嘉寿子（帝京大学短期大学）

事務局メールアドレス：

adm@jacesweb.com